

「よき人のおすすめ」

何年か前にアフリカの民族太鼓の演奏を教える人と出会いました。

「楽しいよ」というおすすめで始めたわけですが、今ではライフワークのようになりました。アフリカでは、太鼓のリズムは神聖なものとして先祖から脈々と伝えられているそうです。

さて、私は岐阜別院というお寺で法務ほうむに従事する列座れつざというお役をやらせていただいています。その法務とは、本堂げじんの外陣という場所で、先生の指導のもと、力の限り声を張り上げ、親鸞聖人しょうしんげの正信偈わさん・和讃を称えます。この列座は棚橋先生よりすすめられました。

他にも中村先生にすすめられて准堂衆じゅんどうしゅうというお役もしています。今年も京都の本山の報恩講ほうおんこうに参り、8日間力の限りお勤めします。

今年は親鸞聖人七百五十回御遠忌ごえんきの年であります。東本願寺では音楽法要を含めると、11月19日から28日までの間、御正當報恩講ごしょうとうが勤まります。

聖人がお書きになられ、蓮如上人がおすすめになり、お手次の住職もおすすめになる正信偈・ご和讃を、皆様も力の限り私と伴にお勤めください。

親鸞聖人のみ教えが、蓮如上人やご先祖の励ましと伴に、長い年月を超えて私たちのところに至り届いて「南無阿弥陀仏」と声になり響きます。

今の私の一日は、太鼓の先生、声明の先生、親鸞聖人、ご先祖のおすすめによる一日です。この3分間法話のお役も先輩からのおすすめです。おすすめを一つの縁としてとらえて考えてみますと、とてもありがたいことかと気付かされます。気付けば声しょうみょう明や儀式作法ができるようになり、法話を聞いたり読んだり、おすすめが私を育ててくれました。

お手次の住職からすすめられる「お参りに来てね」「報恩講に参ろうね」のお誘いに、よき人のおおせにすすめられてお参りください。

あなたに元気をあたえます。